

唐津焼①唐津焼の定義

～唐津焼って何？～

唐津焼は唐津で作られた焼き物のことですが、唐津港から日本各地に船で積み出されたので唐津焼の名前で呼ばれるようになったと言われてい

ます。
瀬戸内海沿岸や山陰地方の日本海沿岸では、焼き物のことを「唐津物」と呼ぶところがあり、唐津焼が古くから広く流通していたことが分かります。

茶道の世界では茶碗の重要度を表した古い言葉で「一楽二萩三唐津」という表現があります。京都の楽焼茶碗、山口県の萩焼、唐津焼のことです。

唐津焼は1580年代に波多氏の城があった岸岳山麓で始まりました。朝鮮半島の技術に類似していることから、朝鮮陶工による技術導入と考えられています。

その後窯場が南部に拡散し、唐津藩の領地のみならず、鍋島藩領や多久や武雄でも陶器の生産が始まります。また長崎県側の平戸藩領や波佐見藩領でも陶器が生産され、今日ではこうした江戸時代に作られた肥前の陶器を総称して古唐津と呼んでいます。

現在の唐津焼も唐津市内の窯元や陶芸家によって作られる焼き物を中心としながら、その周辺で制作される陶器を含めて広く唐津焼と呼ばれています。

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など



◎引用・参考文献（出典）

- ◆『土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—』2008年 佐賀県立九州陶磁文化館
- ◆『窯別ガイド 日本のやきもの 唐津』大橋康二著 2003年 淡交社
- ◆『唐津焼の研究』中里逢庵著 2004年 河出書房新社
- ◆『佐賀県立九州陶磁文化館研究紀要 第5号』2007 佐賀県立九州陶磁文化館
- ◆『特集“唐津”の魅力』『炎芸術 No103』2010年 安部出版

◎エピソード・伝承・うんちく など

■港の名前から付いた焼き物名は伊万里焼も同じ

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html